

具体的な事例を挙げて指導! 看護現場で使えるヒントが豊富!



# 今どきの若者の “論理的思考力”を高める教育法

現場の指導者・教育担当者、学校の先生方の双方に役立つ!

今どきの若者のコミュニケーションの傾向や、現場でよく見られる問題にも触れながら、教育における基本的な考え方をお伝えします。記録・レポート・論文などの文章の書き方や、授業・研修におけるプログラム作りの具体例など、現場で使えるヒントも豊富に盛り込まれています。

よしふみ

**平林慶史氏** 有限会社ノトコード 代表取締役

東京大学在学中より、看護師・教師などケアワーカーの専門性・ストレス問題について研究を行った。特に、「患者の思いがけない死に直面した看護師がその体験をどう乗り越えるか」といったテーマに、フィールドワークを中心に取り組んだ。東京大学大学院を中退して、医学研究のサポート・医療人材の養成などにかかわり、2005年には有限会社ノトコードを設立して「医療・看護×教育」をキャッチフレーズに事業を行ってきた。現在は、「看護師が働きやすい職場環境をつくる」ために、看護職の採用支援・研究指導・教育支援に取り組むほか、看護学生・医学生向けの情報媒体の発行も手がけている。

<b>福岡</b>	19年 6月9日(日)	日総研 研修室(第7岡部ビル)
<b>東京</b>	19年 7月7日(日)	日総研 研修室(廣瀬お茶の水ビル)
<b>大阪</b>	19年 9月1日(日)	田村駒ビル

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 税込	一般 19,000円 会員 16,000円
	※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
	※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数15人。

看護場面で求められる「コミュニケーション力」「問題解決能力」の向上につながる【毎回好評】

プログラム

- 1. 「論理的思考」とは何か**
  - 1) 「論理的思考」に私たちは何を期待しているか
  - 2) 仕事で求められるコミュニケーション能力とは
- 2. 「論理的思考」の技術と実践**
  - 1) 道案内とレシピから学ぶ「筋道を立てる思考」
  - 2) 前向きの洗い出し(仮説思考)と後ろ向きの確認(批判思考)
  - 3) 「誤解」はなぜ生じるのか～言葉の定義のズレ
  - 4) 「分析」と「アセスメント」～論理的思考力の活用
- 3. 論理的な文章を書く／書かせる**
  - 1) 白い紙に文章を書くのは難しい
  - 2) 「ふせん」や「箇条書き」を使って構造を設計する
  - 3) 「枠組」を与えることで、学習者の思考を導く
- 4. 「ゆとり世代」のコミュニケーション風土**
  - 1) 「今どきの若者」を理解する 2) 「論理的思考力」と「空気を読む力」の矛盾
  - 3) 「同調の関係」から「差異に向き合う関係」へ
- 5. 「ゆとり世代」の伸ばし方**
  - 1) 「同調圧力」を逆手に取る 2) 「不安を払拭」するための「具体的な承認」
  - 3) 「ルール」や「基準」を明確に示す
- 6. レジリエンス(へこたれない力)を高める**
  - 1) 改訂学習性無力感理論～人はなぜへこたれるのか
  - 2) レジリエンスを高めるアプローチ
- 7. まとめ・質疑応答**

このセミナーの詳細はホームページで案内中!

日総研 13781

検索

Eメールで専門業務のニーズに応える

「今、学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ [www.nissoken.com/mm](http://www.nissoken.com/mm)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> 今どきの若者の “論理的思考力”を 高める教育法 [13781] ↓参加地区に✓印を [19] <input type="checkbox"/> 福岡 6/9 [20] <input type="checkbox"/> 東京 7/7 [21] <input type="checkbox"/> 大阪 9/1	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL( ) - 〒 -	施設宛 請求書 必要 ・ 不要
	ふりがな			
	氏名 (受取 確認者)			
	生年月日 西暦 19 年 月 日	▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください		
	お客様コード	役職・部署	勤務先名	送付先 自宅 ・ 勤務先
	ご連絡をお送りします。メールアドレス			

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 日総研 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)